

紅樹祭も終わり、学校も今年度の後半戦に突入しました。これから先も、部活動の新人大会、生徒会引き継ぎ、進路、今年度のまとめと次年度の準備などで忙しそうです。生徒たちもそれぞれ新たな目標をもって、学習に生活に励んでいるところです。特に年度末は環境が大きく変わりますから、見通しをもち、自ら考えて動くことを意識して生活して行ってほしいです。

本物に触れ、探究的に学ぶ ～鹿の内臓を使って理科の学習～



10日(火)、地元猟友会のご協力で、本物の鹿の内臓を使って動物の体のつくりを学習する機会がありました。本来は2年生の学習内容ですが、めったにできない経験ということもあり、予習復習を兼ねて全校で行いました。猟友会の伊藤さんが、ご厚意で事前に血抜きやクリーニングをしてくださったため、内臓だけがきれいに残っている状態で、扱うのにそれほど抵抗感はありませんでした。

最初は「空気を入れて膨らんだ状態の肺を切ったり、とがったものを刺したりするとどうなるだろう」という先生の問いに対して予想を立てました。「しぼむ」「破裂する」という予想が多かった中で実際に切ったり刺したりしても肺はしぼむことも破裂することもなく、驚いた様子の子が多かったです。しぼんだりしないのは肺胞が無数にあるため、ということ、体験を通して理解することができました。

そこからは各臓器の働きや特徴について、疑問に思うことや検証したいことに対して自分たちで予想を立てて、検証の方法を考えてから個別に実践をしました。驚きや発見を伝え合ったり、協力して検証したりと、自然と協働的な学びもできていました。「本物に触れる」「探究的に学ぶ」ことの大切さを実感する授業にもなりました。授業後の内臓処理も引き受けてくださった伊藤さんと、鹿に改めて感謝です。

【生徒の振り返りから】

【生徒の振り返りから】

- ・見たり聞いたりしたただじゃわからなかったり、ぴんと来なかったことが詳しく調べることができ、思い出に残すことができたし、普段できない体験や普段できない実験をすることができました。
- ・人間に似た臓器だから「自分もこんな風になってるんだな」と思いました。
- ・最初はもっと臓器とか小さいと思ってたけど意外に大きくてびっくりした。刺しても肺胞があるから肺はまだ使えることがわかった。

お互いのよさが感じられた合同音楽会



27日、昨年度に続き、今年度も阿南町中学校の合同音楽会を開催しました。

昨年度同様、一中も二中也文化祭と同じ曲を発表しましたが、今年度はそれに加えてそれぞれの文化祭の様子を上映し、町内の小学校6年生にも参観してもらいました。また保護者の皆様、地域の皆様にも参観してもらうことができました。

生徒たちは、「すごい緊張した」と話していましたが、それぞれ精一杯発表をしました。講師の塩澤先生に昨年度教えていただいたように、一人一人が自分の声を出し切ることができたと思います。二中の3年生の合唱を聞いた一中の先生が「すごい。鳥肌が立った」と話してくださいました。一中の発表も、人数が多く、迫力が感じられ、四部合唱などのハーモニーも美しかったです。

講師の塩澤先生からは「表現には『正しく』『美しく』『心を込めて』という3段階があり、最後の『心を込めて』が7割。それができて

いたかどうか、自分たちの発表を、自分たちで見たり聞いたりして振り返ってください」というお話がありました。お互いの学校のよさも、もう一度一緒に振り返ってほしいと思います。

校長講話 動いて続けよう



後半の学校生活に向けて

鉄は熱いうちに打て！

- ①「人は熱いうちに意欲が衰え、伸びしろがあるため、その時期に鍛えるべきだ。」
- ②「物事は時勢を逃さないように、熱心や情熱があるうちに事を遂げないと後悔しにくくなる。」

継続は力なり

・やり続けることが成功につながる

18日の校長講話では、令和6年度の後半をどう過ごすか、について話がありました。紅樹祭も終わって、学校は今年度の後半に突入しています。講話を通して、バドミントン秋季大会や中間テスト、3年実力テストの結果を受けて、一人一人がどのように動いたか、またこれからどうしていくかを考える時間になりました。

講話の中で、「鉄は熱いうちに打て！」「継続は力なり」という2つの話がありました。

大会やテストの結果に満足しているか、という問いには、全員が「満足していない」と答えました。では次に満足できるために何かを始めたか、という問いには、何名かが具体的に始めたことを答えてくれました。今より力をつけ、成長するためには、今の自分の力や立ち位置を把握した上でどうしていくかを自分が考え、実際に具体的なアクションを起こすこと、そして努力を続けることが必要です。言うは易し、行うは難しですが、すでに具体的な行動を起こしている友にならって、今日から、今から始めること、そしてそれを続けることをやってほしいと思います。

1年生が阿南焼に挑戦



1年生美術の学習で、阿南町陶芸体験館で阿南焼に挑戦し、たたら作りで平らにした粘土を使ったお皿作りと、ろくろを使った茶碗や湯飲み、コップ作りを行いました。

ろくろ体験では、ろくろの中心と粘土の中心がずれていると思うように形を作れないので、最初に中心をしっかりと決めることや、高さを出すための微妙な力加減に苦戦

していましたが、体験館の先生の助言や手伝いのおかげもあり、初めてのろくろでの作陶とは思えない、整った茶碗やコップができました。お皿も、日常生活のどんな場面で使いたいかをイメージしながら形を作っていました。色見本を見ながら、色もしっかり考えて決めることができました。

「実際にやってみる」ことで得るものは大きいです。それはきっと他の場面でも活かされます。とてもよい経験になりました。素焼きと高台の削りを体験館で行っていただいた後、釉薬をかける工程も体験します。完成品を手にするのが楽しみです。

学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。自由記述の中に、タブレットを毎日持ち帰る必要についてご質問がありましたので、この場でご回答いたします。

タブレットは、ノートや参考書と同じ学習用具の一つととらえています。持ち帰って宿題や自主学習に活用してほしいということで持ち帰りを原則としています。タブレットを活用した学習計画を立てて実践する力を身につけられるよう指導していきたいと思っておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

11月の主な予定

1日(水)	選挙管理委員会③ 興亜エレクトロニクス出前授業② 給食旬間(～10日)	17日(金)	中体連新人戦壮行会
3日(金)	文化の日	18日(土)	19日(日) バドミントン中南信新人大会
6日(月)	3年福祉体験①	20日(月)	人権月間(～12/1)
7日(火)	3年福祉体験②	23日(木)	勤労感謝の日
10日(金)	選挙管理委員会④ 郡総合展覧会(ムトスぶらさ・～16日)	24日(金)	東町花壇片付け
11日(土)	感性と創造のフェスティバル	25日(土)	県PTA大会 阿南町みんなで走ろう駅伝大会
16日(木)	生徒会立会演説会・投票	26日(日)	新野芸能文化祭
		27日(月)	SC来校
		29日(水)	1・2年期末テスト、3年実力テスト⑤
		30日(木)	1・2年期末テスト、3年実力テスト⑥



ご意見・ご要望等ありましたら、お気軽に学校へお寄せください。

本校HPも是非ご覧ください。
<http://anan2jhs.eek.jp/wp/>



文責
教頭 小池 剛
Tel.24-2023